

「友達を大切にすることを育みましょう」

新年度が始まり1ヶ月が経ちました。新入園児も徐々に環境に慣れ、食事も昼寝も出来るようになり、話し掛けた笑顔で応えてくれるようになりました。笑顔が増えてくると嬉しいですね。

最近、朝夕は肌寒いですが、日中は暑い程の日差しで、子ども達も薄着になり、伸び伸びと遊んでいます。外に出るとさっそく始まる堀探し、プランターの下をのぞいたり、木の下を見たり…。こい組の子ども達は、もう大きくなったから何でも出来るんだとばかりにジャングルジムに一斉に昇り出し、慌てて、保育士は傍に行きサポート。とてもみんな活発になってきています。それと同時に、あちらこちらで子ども同士でトラブル発生。思いが通らないと、つい手や口が出てしまうこともあり、保育士はハラハラとドキドキしています。1歳くらいの子は、まだ言葉がはっきり話せないため、つい手や口がということはありませんが、話が出来るようになったら、自分の思いを話せるようになると思います。

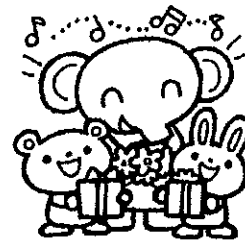
子ども同士がけんかすることで、人それぞれに自分と違ういろいろな考えがあるんだということも、少しずつ分かってきて、その中で折り合いをつけるという気持ちが生まれてくるのではないかなと思います。自分の意思だけを通すとうまくゆかないことも半んでいくのではないのでしょうか。

家庭では通っていたことも、友達との関係では通らないことを身をもって体験していくことが大切だと思います。親はどうしても、けんかをしないようにと口を出しますが、危険のない限り見守ることも必要だと考えます。それにより子ども達も心豊かに育っていくのだと確信しています。私たち職員も子どもの成長のため、子どもを信じて見守っていきたくと思います。

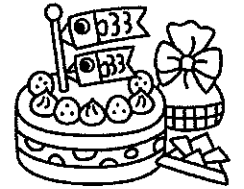
<園長 平野 義子>

### 行事予定

- 2日(火)子どもの日の集い(誕生会)
- 9日(火)幼年消防クラブ任命式(5歳児)
- 10日(水)静修の日(3歳以上児)
- 27日(土)親子遠足(みちのく杜の湖畔公園)
- 31日(水)サッカー教室(4、5歳児)
- \* 避難訓練



おたんじょうび おめでとう



今月のうた

聖歌♪マリアさまのこころ♪

- ① マリアさまのこころ それはあおぞら わたしたちをつつむ ひろいあおぞら
- ② マリアさまのこころ それはかしのき わたしたちをまもる つよいあおぞら
- ③ マリアさまのこころ それはうぐいす わたしたちどうたう もいのうぐいす

うた♪朝のワンニャンコケッコウ♪

- ① いぬくん(ワンワンワン)ねこさん(ニャーニャーニャーニャー)あさかきためをさませ(コケッコウ)きょうもげんきげんきあのおかまできょうどうだ(ワンワンワン)
- ② やぎさん(メーメーメーメー)うしくん(モーモーモー)あさかきためをさませ(コケッコウ)きょうもげんきげんきあのおかまできょうどうだ(ニャーニャーニャーニャー)

おとうさん おかあさんから

ほんび組からあつという間にひつし組、お姉ちゃん、お兄ちゃんと一緒に登園していた頃がすごく懐かしく思います。苦手の野菜も少しずつ食べられるようになり、元気いっぱい、たくましくなりました。最後の一年、お友達、先生方とたくさん思い出を作って卒園を迎えようね!! おいしい給食を作ってくれた先生方、母の悩みを共感し、支えてくださった先生方、本当にありがとうございました。

<〇〇 〇〇くんのおかあさんより>

## クラスだより



### ○ぼんび組(0歳児)

- <ねらい> ・一緒にいる友達に興味を持ちながら生活する。  
 ・天候に応じて衣服を調節してもらい、心地良く過ごす。
- <家庭連携> ・園生活や連休中の疲れが出てきます。休みの日にはスキンケアをとりながらゆったりと過ごしましょう。  
 ・気温の差が大きくなってくるので、調節できるよう薄手の服も用意して下さい。

### ○ひよこ組(1歳児)

- <ねらい> ・安心した生活の中で友達との関わりを喜ぶ。  
 ・生活リズムが整い、快適に過ごす。
- <家庭連携> ・暖かい日は、お子さんと一緒に外に出て、伸び伸び体を動かして遊びましょう。  
 ・連休で生活リズムが崩れやすくなるので、十分な休息をとみましょう。

### ○こどり組(2歳児)

- <ねらい> ・友達と関わりながら、遊びを楽しむ。  
 ・生活の流れを知り、自分で出来る事をしようとする。
- <家庭連携> ・園で遊んだこと、友達のことなど、子どもとの会話を大切にしましょう。  
 ・気温が高くなり汗をかきやすくなるので、衣服の調節ができるように準備して下さい。また、薄着を心掛けましょう。

### ○こねこ組(3歳児)

- <ねらい> ・友達を思いやる気持ち、大切にすることを育つ。  
 ・生活リズムを整え、戸外で伸び伸びと遊ぶ。
- <家庭連携> ・友達との出来事に耳を傾け、友達を思いやり、優しくすることの大切さを知らせていきましょう。  
 ・疲れが出てくる時期です。連休中も生活リズムを崩さず、ゆっくりと休息をとるようにしましょう。

### ○うさぎ組(4歳児)

- <ねらい> ・友達を大切に思いやりの心を持ち生活する。  
 ・身近な自然に関わり、興味を持つ。
- <家庭連携> ・園で友達とどんな遊びをしたか等を聞き、大切に思う心につなげていきましょう。  
 ・子どもと一緒に外で体を動かしたり、散歩に行き、自然にたくさん触れて遊びましょう。

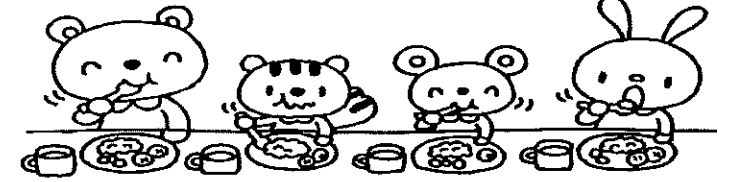
### ○ひつじ(5歳児)

- <ねらい> ・友達を大切にすること、共に喜びや悲しみを分かち合う心が育ち。  
 ・身近な自然に興味を持ち、世話をすることを楽しむ。
- <家庭連携> ・自分の気持ちを伝えるだけでなく、相手の思いを考えたり、聞く大切さを知らせていきましょう。  
 ・植物や野菜など、自然の生長に興味や関心が持てるように関わらしましょう。



### 給食室

新しい環境に少しずつ慣れてきました。食事中もワイワイ楽しそうです。4月に引き続き食べやすい食事を心掛けていきますので、何かありましたらお気軽にお話し下さい。



### お友だちを大切にすること

新年度が始まってもうすぐ1ヶ月。新しく入園したお友達は、少しずつ保育園の雰囲気や生活に慣れてきて、笑顔が見られるようになりました！進級した在園児も1つ大きくなったという意識が出てきたようで「だって、こねこ組だもん！」と片付けをがんばっていたり、泣いている子を笑わせてあげようとする姿が見られます。子ども達の成長に心が温かくなり、「私もがんばらなきゃ！」と思います。

こんな姿からも5月の保育目標である「お友だちを大切にすること」が少しずつ芽吹いていることかうかがえます。以前、あるクラスで午後のおやつの際、お当番さんが叫ばれました。1人はもう着替えが終って準備万端！しかし、もう1人はやっとスポンを履いたところ…。他の子が待っているのに、挨拶しようかと思っていると、準備万端の子がしゃがみ込みました。「ご挨拶しよう」と声を掛けると、首を振り、終わっていない子をじっと見ていました。待っていたのです。その子の優しさに嬉しくなり、新たな一面を発見した日でした。

「子育ては待つこと」と何かの本に書いてありました。時間に余裕を持つことは本当に難しいですが、たまに「ふーっ！」と深呼吸をして、待ってあげられるようにしたいですね。

<副主任 菅原 理以>



### お知らせ

育休中だった、高橋明菜調理師が4月17日より復帰しました。  
 また、島山歩保育士が5月1日より復帰します。(ぼんび組を担当します)  
 宜しくお願いします。





## あなたの一分間拝借！

2017年5月1日

5月は、「友達を大切にすることを育みましょう」を心の保育目標としておきます。新約聖書の善きサマリア人の喩え<ルカ10の25～37>を熟想しながら弱者に対する隣人愛から友達を大切に日々を生きる姿を学びとるようお勧めいたします。そこには愛の仕業は、正しい「ありがとう」以上の価値が神のみ前に存在することを人類に啓示されていることに心の目を向け、5月の目標に挑戦してほしいものです。

隣人愛の実践を心から実践するところには、多くの友だちが集まることでしょう。神と共に永遠に生きる道が開かれているのですから。本当の友だちを得る喜び、生涯忘れることのない友達、まさに仲の善い友達になれるよう祈りましょう。民族を超え、身分を超え、敵対関係を超えて行われる隣人愛は、自分の力だけでは不可能に近いものです。誰でも自分が一番可愛いものですから、この壁を超えるためには愛である神との関わりなしでは難しいことです。

善きサマリア人を良いサマリア人とはいいません。サマリア人の行ったことは良い行いではなく、善い行いだからです。善と良は何処が違うでしょうか？広辞苑を見ますとどちらも「すぐれている」を意味しているのですが、良く見ると違いが分かります。「善」は道理に適っていることを意味し、心とかかわりのある言葉であることが示されています。「良」は、「質」を表すと同時に「知性」とのかかわりがあることに気がつきます。

善…善を責めるは、朋友の道なり<孟子>善に従うことは、水に流れるが如し！

良…頭の良い人 成績の良い人 あそこは家を建てるのに良い土地である。天気が良い、善いとは言わない。良い友は、必ずしも善い友とは限らない。その逆も真です。どちらかといえば「善い友」となれるように互いに努力することが肝心ではないかと思えます。良い友といわれても、あいさつ、ありがとう、謝り合う心が身につけていなければ平和な交わりは期待されないことに目覚めて欲しいもので、自重自戒いたしましょう。信じ合う世界から遠ざかることになります。イエスが誕生した時、天使たちは「天には神に栄光、地には善意の人々に平和！」と賛美した意味合いもうべなるかなではないでしょうか。

聖書を読んでいつも不思議に思う事があります、それは、イエスが教会を創設する時に自分の弟子たちのなかから12人選んで、彼らと共に生活しながら人々に福音を伝え、人々を真の世界に導くようにお計らいになりましたが、その時世の「良い人」ではなく、「善い人に近い人々」を選んだことです。自分の名前を書くことも出来ない人やその日暮らしの労働者を選んで神の教えを分かち合ったことです。私を信じ、私の掟、愛の掟を守る人々は皆私の友であると教え、私が「あなた方を愛したようにあなた方も互いに愛し合いなさい」と言いながら新しい世界を啓示されたことです。

弟子たちは皆イエスの慈愛と模範によって「善い友」を目指して自己刷新し、教会共同体を世に進化させ今日に至っており、世の終わりにまで継続される共同体であることを、イエスは「共に居る」と宣言しつつ約束しているのです。お互いに「善き友」となれるように、イエスの教えた「隣人愛」を実践しながら5月の「友を大切にすることを育む」に力を尽くしましょう！

カトリック司祭  
川井 啓

